

未来の農場課題を先延ばしするな！ GGAP とお客様は誰か？に畑から応える実践事例

農場らしさ、地域らしさ、自分らしさ の強みを生かす経営



十勝農業は食材の宝庫。でも、本当に地元の人が食べる循環があるか？ そこに仕事はあるのか？農と食と情報発信で地域のファンを創りましょう！！顧客の創造は人との交流からしかうまれません。難しい、苦しい、でも楽しい！やるしかない！という開拓精神がある十勝人が拓ける道だと信じて進んでます！

前田農産食品株式会社 代表取締役 前田 茂雄

昭和49年12月15日生まれ。本別高校、東京農業大学農業経済学部卒業後、米国テキサス A&M 大学/アイオワ州立大学にて農業経営・流通を学び、多くのアメリカ農家との出会いから大規模商業流通の農業実習を体験。2000年に実家の前田農産食品合資会社に就農。経営規模120ha。小麦5品種、甜菜、豆類、ポップコーン栽培。大規模付加価値型経営を目指す。役員3、社員4名、パート6名入植後119年、蓄積された先人の「勘」や「経験」→土壌分析に基づく施肥設計作業データ、農場GAP実践から工程管理情報を残し、100年持続する農業経営を実践中。2008年～、「生産者の顔の見える農産物を通して農業のファンづくり」を主旨とした農業サポーター作りに力を注ぐ(帯広市食産業振興協議会「ベーカリーキャンプ」への参加など)。また季節性ある農業収入拡大と雇用平準化、新畑作輪作体系確立のために、ポップコーン栽培を開始し、2016年4月より国産初の電子レンジ専用の“北海道十勝ポップコーン”を商品化、2017年北海道食品コンクールにて北海道知事賞受賞。2019年、ひまわり巨大迷路開始！？

【主な経歴】

- 2008年 自社ブランド“顔の見える小麦”5品種販売開始
- 2009年～13 十勝ベーカリーキャンプ 小麦畑ツアー農場 小麦畑にミステリーサークル、24mアンパンマン、日本一長～い111mピザ、ギネスブック認定！十勝トーストアート 実行委員
- 2014年 HAL財団農業経営優秀賞
- 2015年 GLOBAL・GAP農場認証取得（国産初の小麦・ポップコーン）
「新麦コレクション」理事
- 2016年 前田農産小麦粉「春よ恋」料理王国100選受賞
国内初の電子レンジ専用「北海道十勝ポップコーン」加工販売開始
Nuffield Farming Scholarship 国際農業者向け奨学金制度アイルランド会議に日本人初参加
フランスSIMA 農業機械展 Most innovative farmer 受賞
- 2017年 「北海道十勝ポップコーン」北海道知事賞受賞 2018年農林水産食糧産業局長賞
中小企業家同友会十勝支部農業経営部会会長 2019～PC コーングリッツ事業開始